

# 松浦市の財政事情

平成23年度各会計の決算および平成24年度9月末現在の執行状況をお知らせします。

問合せ先 総務課財政係 ☎内線 319

## 平成23年度 一般会計決算概要

平成23年度の一般会計決算（見込み）は、歳入総額177億7千7百77千円（対前年度比11・1%減）、歳出総額171億9,606万8千円（対前年度比11・4%減）であり、歳入歳出差し引き額が5億1,805万9千円となりました。

また、このうち23年度事業を24年度へ繰り越して実施するための財源4,381万2千円を差し引いた実質収支は4億7,424万7千円となっています。

## 歳入

歳入の内訳は表1のようになっています。

自主財源についてみると、歳入全体に占める割合は31・4%で、前年度と比べると6億2,081万5千円、10・0%減少しています。これは、徴収対策の強化により市税収入が増加

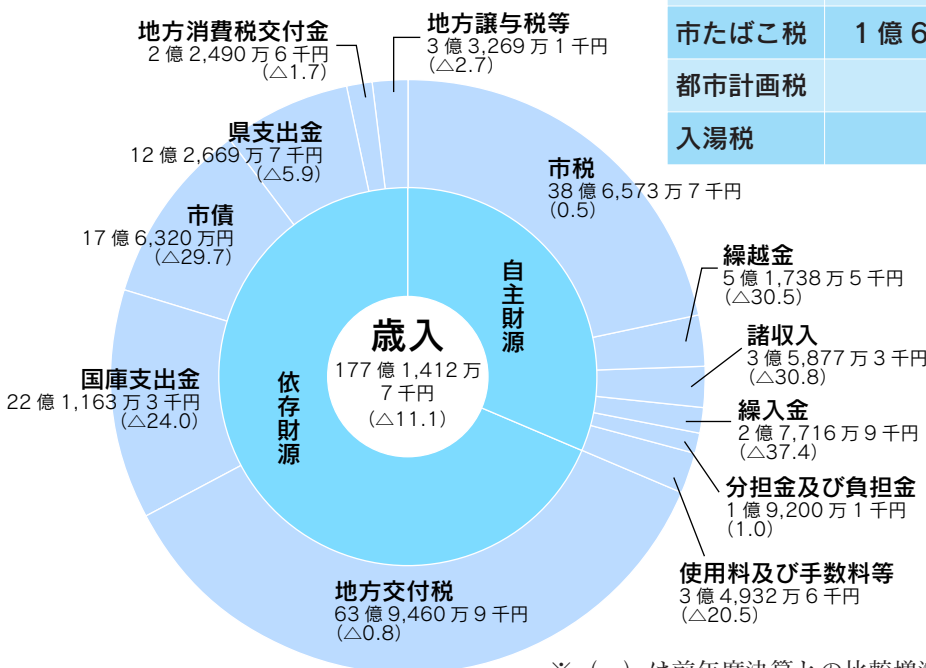
したものの、国からの交付金事業終了による繰越金の減少や、基金などの繰入金、諸収入といった歳入自体の全体的な減少が主な要因となっています。

一方、依存財源の割合は68・6%で、前年度と比べると15億8,316万8千円、11・5%減少しています。これは、国や県からの支出金や市債の減少が主な要因です。

■表2 市税の内訳

総額	38億6,573万7千円	増減率(%)
市民税	9億5,076万1千円	3.2
固定資産税	26億7,839万7千円	△1.2
軽自動車税	6,669万3千円	0.7
市たばこ税	1億6,771万7千円	14.2
都市計画税	126万3千円	99.8
入湯税	90万6千円	131.7

■表1 歳入の内訳



※ ( ) は前年度決算との比較増減 (%)

※自主財源：市が独自に確保できる財源  
依存財源：国・県からの交付金や補助金など

# 歳出

歳出を目的別にみると(表3)、最も多くの経費を要したのが全体の29・0%を占めた民生費で、社会福祉や児童福祉、生活保護などに充てたものです。次いで総務費、市債の返済に充てた公債費、衛生費、教育費、農林水産業関連の施設整備や振興に充てた農林水産業費の順になっています。

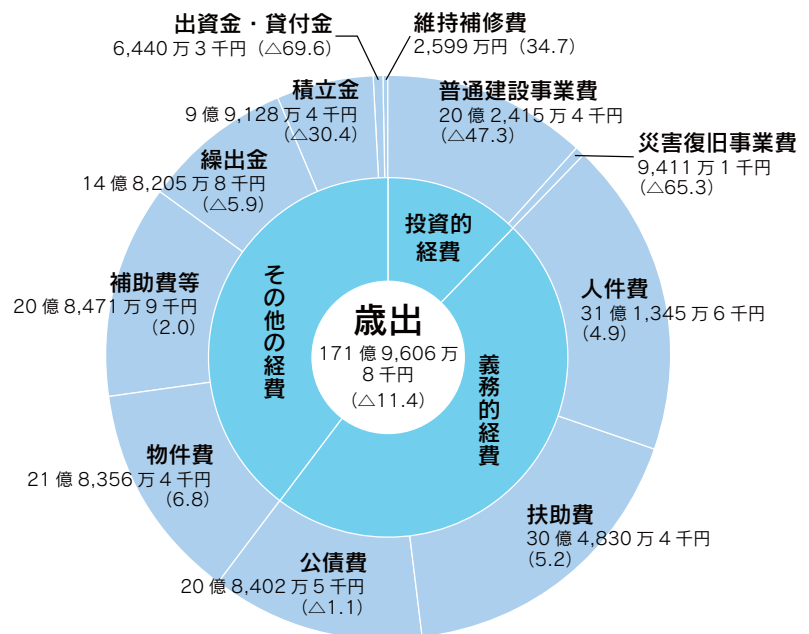
歳出を性質別に見ると(表4)、公共施設の整備などに充てた普通建設事業費や災害復旧事業費などの投資的経費、人件費・扶助費・公債費といった支出が義務づけられ自由により削減できない義務的経費、およびその他の経費に分類できます。

投資的経費は全体の12・3%を占め、うち普通建設事業費は11・8%となっています。また、この中で義務的経費は全体の48・0%を占めており、うち人件費が18・1%となっています。

■表3 歳出(目的別)の内訳

総額	171億9,606万8千円
民生費	49億9,451万円
総務費	29億3,332万4千円
公債費	20億8,402万5千円
衛生費	18億3,273万円
教育費	16億8,763万3千円
農林水産業費	10億2,895万7千円
土木費	8億4,644万2千円
消防費	7億5,254万8千円
商工費	5億938万円
議会費	1億9,332万9千円
労働費	1億8,403万7千円
災害復旧費	9,285万9千円
諸支出金	5,629万4千円

■表4 歳出(性質別)の内訳



※ ( ) は前年度決算との比較増減 (%)

## ◆市民一人当たりの歳入と歳出は…

歳入は、700,274円

費目	金額(円)
市税	152,820
国庫支出金	87,430
県支出金	48,494
地方交付税	252,791
市債	69,703
諸収入	14,183
その他	74,853
合計	700,274

※平成24年3月末、人口25,296人で計算

歳出は、679,794円

費目	金額(円)
民生費	197,443
総務費	115,960
公債費	82,386
衛生費	72,451
教育費	66,715
農林水産費	40,677
土木費	33,461
その他	70,701
合計	679,794